

第80回 応用物理学会 秋季学術講演会  
分科企画シンポジウム (8.プラズマエレクトロニクス)  
**プラズマ制御「前駆体」が拓く  
生命科学と材料科学**

日時：2019年9月19日(木) 13:30 ~ 17:15(予定)  
会場：北海道大学(北海道札幌市) セッション：T11

大気圧非平衡プラズマを用いた医療・農業への応用や新機能性材料の創製においては、プラズマ中で生成される短寿命活性種およびそれらが作用して過渡的に生成される不安定な有機化合物、すなわち「前駆体」が重要である。

本シンポジウムでは、プラズマならびに他の方法による種々の前駆体の生成制御とそれらの細胞応答および材料合成への作用機序について議論する。

### 招待講演

- 「プラズマ修飾反応前駆体の生成制御と生物応答」  
高島 圭介 (東北大学)
- 「有機酸前駆体のプラズマ生成と細胞機能制御」  
石川 健治 (名古屋大学)
- 「細胞内生成前駆体による植物機能制御」  
朽津 和幸 (東京理科大学)
- 「プラズマ励起前駆体による触媒作用顕在化」  
野崎 智洋 (東京工業大学)
- 「反応前駆体制御によるナノ物質構造制御合成」  
澁田 靖 (東京大学)
- 「プラズマ生成前駆体制御による単分散ナノ粒子合成」  
古閑 一憲 (九州大学)

世話人：  
呉 準席(大阪市大), 神野 雅文(愛媛大),  
金子 俊郎(東北大), 近藤 博基(名古屋大)

応用物理学会

プラズマエレクトロニクス  
分科会

Division of Plasma  
Electronics